

ビジネス科2年生

マーケティング講座「第3回快造塾」活動報告

具体的なビジネスプランの立案方法について学びました！

6月14日（水）3・4限、「第3回快造塾」を実施しました。

講師には、中小企業診断士・税理士・行政書士と様々な肩書をお持ちである小山武仁先生をお招きし、「視点と発達段階」というテーマについて講義をしていただきました。

事前学習として、マズローの発達段階について学習し、自分自身の欲求がどの位置に属しているか、また、その理由は何故かを考えました。

授業前半では、「あなたが市長となり街づくりをする際に、どのようなインフラに、どれだけの予算を計上しますか？」との質問に対して、「隣町を活用して予算を削減できないか?」、「併設できる施設はないか?」と意見交流の中で理解を深めていきました。

授業後半では、「フェルミ推定」について学習しました。「フェルミ推定」とは実際に調査することが難しいような捉えどころのない量を、いくつかの手掛かりを元に論理的に推論し、短時間で概算することです。

まず、「同級生が一日に飲む、飲み物の量は?」という問いに、生徒の意見から1日1リットル飲むと仮定して、その人数に比例した飲み物の量が必要であるかを考えることができました。次に、「高山市内で使われる一日のガソリン消費量は?」の問いについて考えました。様々な視点から概算することが出来れば、今後スタートするビジネスプランがより正確に、より具体的に計画できるということです。結果的にコストを軽減でき、ビジネスとしての成功率が向上することを学びました。

第4回は7月中旬に予定しています。

